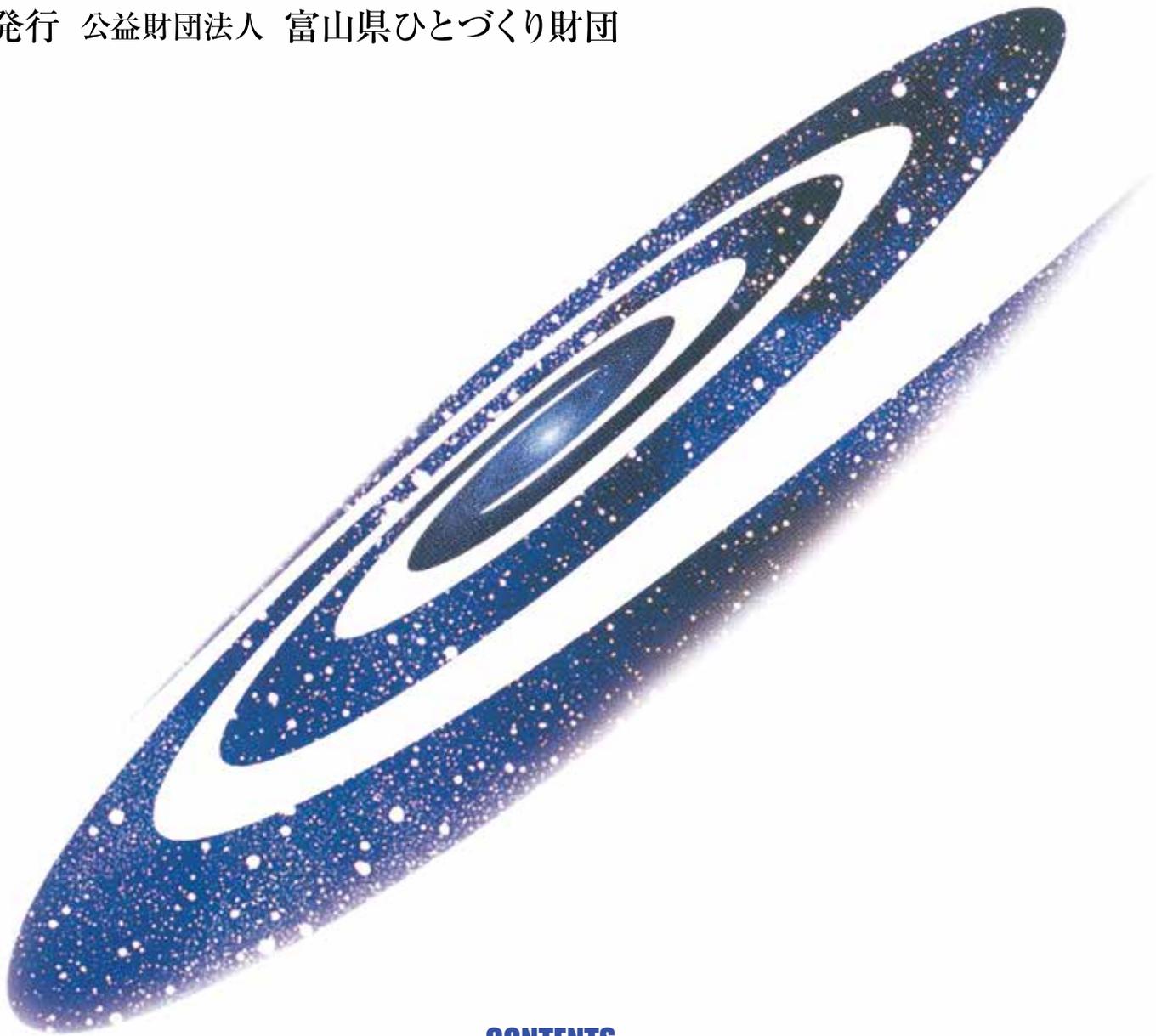


# 創造

No.  
66

発行 公益財団法人 富山県ひとつづくり財団



## CONTENTS

● エッセイ	2
● 第42回「とやま賞」	3
● 「夢の卵」育成事業	6
● きらめき未来塾	8
● 子どもたちの生きる力を育む起業家教育推進事業	9
● 高校生とことん科学セミナー、高等教育振興事業	10
● 令和8(2026)年度ひとつづくり財団事業予定	11

## エッセイ

たくさんの

子どもたちと出会って

和田朝子記念 Air Ballet Studio  
(旧和田朝子舞踊研究所)

和田 伊通子 氏



私は今年で60歳になります。

その大部分は、自分が踊る時間ではなく、誰かを指導する時間です。自分が踊るより教えることが好きだったのか、踊るセンスがなかったのかは分かりませんが、全力を注いできたことだけは確かです。

振り返れば間違いなく素晴らしい体験であり、この道を選び、続けてきた自分に、今は誇りを持っていきます。

数十年にわたる指導の中で、本当に多くの子どもたちに出会ってきました。振り回され、悩まされ、そして感動する、その繰り返しの日々でした。

どの子どもたちも踊っているときは楽しそうで、その姿に私は何度も救われてきました。



中川賢さん

その中から、才能と努力、そして「楽しい」という気持ちを重ね、踊ることを職業にした子どもたちが何人も育っていききました。

その第一号が、中川賢くんです。

賢くんは、男の子のダンサーとしてスタジオ全体の踊りの幅を広げ、「バレエは女の子だけのものではない」ということを、その存在そのもので示してくれました。

彼をきっかけに男の子の入所は徐々に増え、現在も毎年、新しい仲間が加わっています。



水島晃太郎さん



檜山和久さん

かつて、お姉さんと一緒にスタジオに通っていた小さな男の子が、今では日本を代表するトップダンサーの一人となりました。今回のとやま賞受賞は私の母である朝子にとっても、そして私にとっても、言葉にできないほどの喜びです。

母から受け継いできた「富山を踊りで元気にする」という想い。卒業生たちが今もスタジオを訪れ、さらにその子どもたちが新たに通ってくれる現在の姿を見ると、その想いは少しずつ形になってきたのではないかと感じています。

この火を絶やさぬよう、中川くんの後輩でもある松理沙さんを後継者として迎え、2021年に一般社団法人Chorreaを設立いたしました。まだまだ道は続きます。これからも、たくさんの出会いが待っていることでしょう。

今後とも変わらぬご指導、ご鞭撻を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。



松理沙さん

## プロフィール

和田 伊通子(わだ いつこ)

- 1965年 富山県射水市生まれ
- 1984年 富山県立砺波高等学校卒業
- 1989年 筑波大学体育専門学群卒業
- 1990年 文化庁国内研修員
- 1998年 ロヤモント・ファンデーション交換プログラムによりフランス短期留学
- 第16回とやま賞受賞
- 1999年 平成11年度社団法人現代舞踊協会新人賞受賞
- 2002年 平成14年度北日本新聞芸術選奨受賞
- 2005年 第62回全国舞踊フェスティバル創作舞踊部第1位東京新聞大賞受賞
- 2016年 富山県部門功労(文化分野)表彰
- 2016年 富山新聞芸術賞受賞
- 2016年 第65回富山芸術祭記念功労者表彰

第42回

# 「とやま賞」贈呈式

令和7年5月19日(月)

贈呈式・受賞記念講演

「とやま賞」とは…

富山県の置県百年を記念し、富山県の将来を担う有為な人材の育成に資する目的をもって昭和59年に創設されました。

受賞対象者は、富山県出身者または県内在住者で、学術研究、科学技術・文化・芸術及びスポーツの分野において顕著な業績をあげ、かつ将来の活躍が期待される個人または団体です。



石塚選考委員長による選考経過報告



新田知事より賞状・目録贈呈



第42回「とやま賞」贈呈式は、去る5月19日に、パレブラン高志会館にて執り行われました。  
贈呈式では、新田富山県知事から受賞者5名に賞状及び奨励金目録が手渡されました。また、各受賞者からは受賞の喜びやこれまでの経緯についてプレゼンテーションしていただきました。



受賞記念講演

## 今回の受賞者



山田 直也 氏

学術研究部門 医薬(生命科学分野/消化器病学)  
Heinholz Zentrum München,  
Institute of Metabolism and Cell Death/ポストドクター

フェロトシスを標的とした難病  
克服とがん治療の革新への取り組み

この度は、栄誉ある第42回とやま賞を賜り、誠にありがとうございました。新田県知事をはじめ、富山県ひとづくり財団の皆様、ならびに富山県民の皆様にご心より御礼申し上げます。

私は富山で生まれ育ち、2009年に富山大学医学部を卒業後、同附属病院で初期研修を受けました。その後、栃木県の自治医科大学にて小児肝移植を専門とする外科医として、臨床と研究に従事してまいりました。2016年には大学院博士課程へ進学し、受賞課題である新たな細胞死様式「フェロトシス」と肝疾患に関する研究に着手しました。

これまでに、肝移植時に生じる肝虚血再灌流障害や、急性肝不全の主因であるアセトアミノフェン肝障害においてフェロトシスの関与を明らかにし、その病態解明に貢献してきました。さらに、CRISPR/Cas9を用いた遺伝子スクリーニングにより、肝細胞におけるフェロトシ

シス制御因子「DHCR7」を同定し、肝臓特異的な分子機構の発見にもつなげています。2023年からは、フェロトキシス研究の世界的拠点であるドイツ・ミュンヘンのヘルムホルツセンター・ミュンヘン (Marcus Conrad研究室) にて研究を進めており、現在は小児難病であるミトコンドリア肝症や肝臓・脾臓を対象に、フェロトキシスを通じた病態の解明や新規治療法の開発に取り組んでいます。

今後も、富山で育まれた探究心と粘り強さを原動力に、難病の克服と医学の発展に取り組み、その成果を通じてふるさと富山の皆様に恩返しできるよう努めてまいります。改めまして、この度は誠にありがとうございました。



室 龍之介 氏

**学術研究部門 医薬・生命科学分野(免疫学)**  
 東京理科大学 生命医科学研究所  
 分子病態部門 助教

**炎症性 $\gamma\delta$ T細胞の分化を促進する分子メカニズムの解明**

この度は、栄誉あるとやま賞を賜り、大変光栄に存じます。富山県ひとつくり財団の関係者に心より御礼申し上げます。

私は、入善町に生まれ、入善小学校、入善中学校、入善高校を卒業しました。山口大学では、山田守先生指導の下、大腸菌の細胞死に関する研究を行いました。その過程で、私たちはどのように自己と病原体をはじめとする非自己を区別しているのだろうか、と考えを巡らせ、東京医科歯科大学(現東京科学大学)に進学し、免疫学を専攻しました。博士課程では、鈴木春巳先生指導の下、T細胞における新規分子の機能解明に取り組みました。

博士取得後、東京大学免疫学講座の高柳広先生の研究室で職を得て、胸腺における $\gamma\delta$ T細胞の分化に関する研究を始めました。 $\gamma\delta$ T細胞は、 $\alpha\beta$ T細胞(一般にT細胞)とは異なる性質を持つ非典型的なT細胞です。例えば、病原体の侵入に素早く反応し、大量の炎症性サイトカインを分泌し、初期の免疫応答を担います。このようなユニークな特徴をもつ $\gamma\delta$ T細胞はどのように胸腺で分化するのか?この疑問に答えるために、免疫受容体近傍のリン酸化酵素であるZfp70とSYKを欠損するマウスを作成し、胸腺 $\gamma\delta$ T細胞を解析しました。その結果、 $\gamma\delta$ T細胞受容体シグナル伝達には、B細胞受容体シグナルの制御に重要なSYKが必要であることを見出しました。驚くことに、SYKを欠損する $\gamma\delta$ T細胞は炎症

性サイトカインIL-17を産生できないことがわかりました。また、SYK欠損マウスは、IL-17によって誘導される乾癬様皮膚炎に抵抗性となることがわかりました。

最後に、博士課程から今日に至るまでにご指導くださった東京理科大学 新田剛教授に深く御礼申し上げます。



中室 貴幸 氏

**学術研究部門 理工分野(化学)**  
 東京大学総括プロジェクト機構  
 「革新分子技術」総括寄付講座 特任准教授

**分子動態の電顕映像解析による化学の新境地**

このたびは、栄誉あるとやま賞を賜り、心より御礼申し上げます。富山県人づくり財団ならびに関係者の皆様に、心から感謝申し上げます。

私は富山市婦中町に生まれ、速星小学校を経て、富山高等専門学校へと進学しました。進路を選んだきっかけは、単純に「化学が好きだったから」です。とはいえ、まさか現在まで研究者として歩み続けているとは、当時の自分には想像もつきませんでした。

高専卒業後は京都大学に編入し、有機

合成化学の分野で博士号を取得しました。生まれ育った「くすりの街」富山での環境や、身近な人が大病を患った経験が、少なからず進路に影響しているのだと感じています。現在は東京大学で電子顕微鏡を用いた研究を行っています。難しい研究内容はさておき、本誌『創造』の読者が教育に関わる方や未来を担う若い世代であることを踏まえ、科学教育に関心をもちたいと思います。

一つ目は、「コミュニケーション能力の大切さ」です。AIの進展により、多くの人々が新時代を経験していくこととなります。どのような環境でも、自分の考えを正確に伝え、他者と協力しながら課題を解決する力がますます重要になります。私自身も、富山高専時代の恩師・青山晶子先生に英語での表現力を鍛えていただき、また、母からは物おじしない姿勢を学びました。国際性を備え、自分の意見を論理的に伝えることのできる人材が、これからの社会を支えていくと信じています。

二つ目は、「多様な興味を持つことの重要性」です。昨今は「二刀流」という言葉が注目されていますが、今後は「多刀流」といったマルチな能力が求められる時代が来るかもしれません。私自身も、

有機化学と電子顕微鏡学という異なる分野の接点に挑むことで、新たな分子科学の可能性を切り拓いてきました。未知の領域に興味を持ち、自らの視野を広げていくことが、思わぬ発見や進路に繋がることもあるのです。もちろん、挑戦の道には困難も伴います。そんな時には、家族や友人、信頼できる先生方としっかりと話し、時には気分を切り替えながら、前向きに歩んでいただきたいと思います。最後に、これまでともに研究を進めてくださった多くの共同研究者の皆様、そして日々支えてくれる家族に、改めて深く感謝申し上げます。この度は、名誉ある「とやま賞」をいただき、富山県とづくり財団ならびに関係者の皆様に心より御礼申し上げます。

文化・芸術部門

舞踊

(有) ジャンクシヨシ



中川 賢氏

舞踊家・振付家として革新的作品の舞台表現者として第一線で活躍し、今後の舞台芸術を担う

私はとやま賞の受賞をきっかけに舞台芸術の世界に携わった36年間を振り返ることができました。

6歳の時に和田朝子舞踊研究所（現在のZバレエスタジオ）でモダンダンスを始め、中学生までの間に富山で数々の貴重な舞台を経験。その後上京し、高校、大学と演劇の勉強を経てプロのダンサー・ミュージカル俳優として活動。その後、新潟市にあるダンスカンパニーNoisemで8年間、ダンサーとしてかけがえない日々を過ごしました。そして東京に拠点を移して今に至るまで、応援してくださる方々やアーティストとのたくさんの出会いのおかげで舞台の世界を諦めずに続けてくることが出来ました。これまで出会ってくれた方々に心から感謝しています。

舞台芸術は、基本的に、その時、その場所、そこにいた人たちだけで作り上げられる刹那的なものです。しかし一瞬一瞬に命をかけて生きる芸術家の魂は、世代を超えて確実に繋がっていき、観客自身も人生における大事な何かを受け取り、一生忘れられない経験をする。舞台を作るのも、一緒に踊るのも、それを観るのも、すべては人と人との間にある繋がり大切にすることによってかけがえのないものになります。

私のダンス人生も一つ一つの舞台に真摯に向き合ってきたからこそ、今に繋がっているのだと思います。今後はダン

サー、俳優としての活動をメインにしつつ、振付や指導などを通して私が次へ繋げていく番だと感じています。

様々なエンターテイメントが溢れるこの世の中で、生身の人間が身体や心をさけ出して行われる舞台芸術の素晴らしさを信じて、忘れられない一瞬を与えられるアーティストになれるようこれからも精進していきます。

それがゆくゆくは富山への貢献となることを願っています。

スポーツ部門

バスケットボール

BLEAGUE 長崎ウエルカ



馬場 雄大氏

秀でた競技内容・成績

このたびは「とやま賞」を賜り、心より感謝申し上げます。

小学1年生でバスケットボールと出会い、奥田中学校時代は休みが元旦だけで残り364日は厳しい練習に取り組む日々でした。富山第一高校在学中は、2年次と3年次にウィンターカップへ出場し、全国のレベルの高さを痛感しました。小学校から高校まで、富山で過ごした毎

日が私の原点となっています。

大学在学中には教員免許を取得しながら日本代表に選出していただき、競技と学びの両立で自己管理能力を磨きました。

2017年にアルバルク東京へ入団し、新人王、連覇、チャンピオンシップ MVP を獲得でき、NBA GリーグやオーストラリアNBLへ挑戦し、リーグ優勝と最優秀守備選手賞を獲得しました。東京五輪、パリ五輪にも日本代表として出場し大きな経験が出来ました。

今の私がいるのも、富山での日々を支えて下さった皆様のお陰です。

今後は、スポーツの力で地域と世界をつなぎ、夢を持つ子どもたちの背中を押せる存在を目指し、さらなる挑戦を続け、富山県に恩返ししたいと思います。



# 夢の卵🐣育成事業

この事業は、ノーベル物理学賞を受賞された故 小柴昌俊さんの「子どもたちには『夢の卵』を持ち続けてほしい」とのメッセージにちなんで企画しました。子どもたちに「いくつもの『夢の卵』をもってもらうこと」、「『夢の卵』を温めてもらうこと」、そして「『夢の卵』を孵すこと」を支援し、自分の将来を考えてもらうきっかけづくりをねらいとして、平成16（2004）年度から実施しており、今年で21回目となりました。

4月中旬から5月にかけて、県内の小学校5、6年生と中学校1、2年生を対象に、「将来の夢（＝夢の卵）」を書いた作文を募集し、その中から選んだ4名の児童生徒が、各分野の専門家に短期入門をしました。また、より多くの子どもたちの夢を応援するため、それ以外の秀でた作品を佳作として表彰しています。

## 小学生の部（応募数340作品）

### 生産と環境の持続可能な農業を行うハイテク米農家になりたい

小竹 源真 さん（高岡市立高陵小学校5年）

米農家の担い手不足に注目し、AIロボット利用による生産の持続や、農薬を減らした農業を行う米農家になりたいとスマート農業普及センターに入門。スマート農業に関する講義やスマート農機の見学と体験を行いました。

#### 体験記より

ぼくは、お米が大好きなので、お米が国外お取り寄せの最高級の食べ物になったらいいやだから、田んぼは減らさないでほしい、と思います。そこで、こういった技術があることで、農業が大変でしかも毎年収入が変わる仕事から、ラクで毎年安定して収入を得られる仕事になるとよいなと思いました。



スマート農業についての講義



ロボット田植え機の試乗



射水神社増築工事の見学



木材の加工体験

### 歴史を守る宮大工になりたい

塚口 あかり さん（小矢部市立石動小学校5年）

歴史的建造物の建物だけでなくその歴史を知り、過去を未来につなぐたいという思いから宮大工になりたいと舟木工匠に入門。神社増築現場と勝興寺の見学、宮大工と文化財修理について学び、木材加工体験をしました。

#### 体験記より

短期入門を通して、宮大工になるためには、カンナやノミをじょうずに使えるだけでなく、いろいろな勉強をがんばっていく必要があると思いました。勉強の他にも、学校や生活の中での様々な経験が宮大工になるために役立つのではないかと思います。私は、これからどんなことにも挑戦して、いつか必ず宮大工になりたいです。



- ① サッカー選手
- ② 医師
- ③ イラストレーター
- ④ 建築関係
- ⑤ 学者・研究者、野球選手



令和7年度 夢の卵表彰式

<令和7年度の入賞者数>

小学生の部 優秀賞（短期入門）2名 佳作 16名  
 中学生の部 優秀賞（短期入門）2名 佳作 12名

中学生の部（応募数576作品）

動物に役立てる人になりたい

真野 来実 さん（射水市立小杉中学校1年）

自身の体験から、動物の思っていることがわかる翻訳アプリを開発し、動物の医療や飼い主の手助けをしたいと千葉大学文学部に入門。動物心理学についての講義や行動分析の実習と実験を行いました。



動物心理学についての講義

体験記より

短期入門で動物心理学という学問に触れ、ますます興味が増しました。この貴重な体験を今後の勉強や生活に活かしたいです。そして、飼い主さんや動物医療など様々なことに役立てられるよう、模索していきたいと思います。



行動分析の実習



地震についての講義

誰かの未来のために尽くせる  
地震学者になりたい

田邊 花妃 さん（射水市立射北中学校1年）

能登半島地震の経験から人のために何が出来るかを具体的に考え、地震学者となって安心して過ごせる世界を作りたいと名古屋大学減災連携研究センターに入門。減災館の見学や地震について深く学びました。



減災館の見学

体験記より

入門を通して、改めて地震学者になりたいと思いました。私は地震の死因で多い圧死と溺死を防ぎたいと考えています。そのために今まで以上に地震について勉強したり、地震が発生したときに自分ができることを考えてそれを行動したりすることを意識したいです。

# きらめき未来塾

子どもたちの発想力や創造力・ユーモアのセンスなど多様な可能性を引き出すため、各分野で活躍されている方を講師にお招きし、夏休み期間中に3つの道場を開催しました。

## 右脳活用道場

直感的なイメージ、柔軟な発想力、創造力を形にする表現力を育てる

講師：森 みちこ さん（漫画家）

オリジナルの漫画づくりを通して、自分のアイデアや考えを絵と言葉で表現する手法を学びました。

みんなに読んでもらう作品として仕上げることを体験することで、自分のイメージや思いを伝える絵や言葉の展開・表現の難しさや、1つの作品が出来たときの達成感を味わいました。

※みんなが描いた漫画は1つの作品集にまとめてプレゼントしました。

- 第1回【7/31】オリジナルマンガのネームをつくらう
- 第2回【8/7】原稿の下描きとペン入れをしよう
- 第3回【8/18】スクリーントーンを使ってみよう



完成した作品集



漫画の描き方指導

## お笑い道場

ことばあそびを通して、ユーモアのセンスやウイットに富んだ表現力を育てる



指導風景



お笑い大会の様子



お笑い大会 集合写真

講師：牧内 直哉 さん

（フリーアナウンサー、社会人落語家 安野家 仁楽齋）

ことばあそびをテーマに短めの笑い話「こばなし」、「なぞかけ」、五七五の「折句」などに取り組み、発想力や表現力を磨きました。お笑い大会では、ホールに集まった家族の皆さんを前にこばなしやなぞかけなどを披露することができました。

- 第1回【7/30】自由に自己紹介してみよう
- 第2回【8/6】「こばなし」「なぞかけ」をやってみよう
- 第3回【8/12】ユーモアを交えて表現してみよう
- 第4回【8/17】お笑い大会（発表会）



## 思考道場

ゲーム感覚で数学的な考え方を磨き、柔らかな思考力・発想力を養う

講師：中田先生、杉本先生、養藤先生、中野先生、鈴木先生  
（県内小学校教員5名）

小学校の先生5名が講師となり、楽しい算数の授業が行われました。課題解決に向けて、一生懸命に頭を働かせ、粘り強く考える姿が随所に見られました。回を追うごとに、考えることが大好きな仲間と仲良くなっていく姿も印象的でした。

- 第1回【7/29】「すごろくドボン」「一筆書き」「仲間集め」
- 第2回【8/5】「数理ゲーム必勝法」「タングラム」
- 第3回【8/19】「一刀切り」「dLますの不思議」



dLますの不思議



タングラム



数理ゲーム必勝法

# 子どもたちの生きる力を育む起業家教育推進事業

子どもたちが変化の時代を「生き抜く力」（失敗を恐れず、目標をもって進む力・諦めない力・やりきる力等）を育成するとともに、子どもたちの将来のキャリアの選択肢を増やし、学ぶ意欲を高めるため、起業家教育ワークショップ「みらいの起業家マインド育成塾」を開催しました。

**起業家教育とは…**「起業家精神」（チャレンジ精神、創造性、探究心など）や、「起業家資質・能力」（情報収集・分析力、判断力、実行力、リーダーシップ、コミュニケーション能力など）を有する人材を育成する教育

## みらいの起業家マインド育成塾

（公社）日本青年会議所北陸信越地区富山ブロック協議会と共同で主催し、小学6年生、中学1、2年生を対象に8月5日（火）にサンフォルテで開催しました。

### 第1部 経済のしくみを知ろう

カードゲームを使って、助け合いながらより良い暮らしを作り上げていく経済活動を疑似体験しました。

グループの仲間と協力しながら、「資源」「技術」「生産物」のカードを組み合わせて、経済をまわすことの基礎・基本を学びました。



### 第2部 自分の長所を見つけよう

適性検査を実施し、まだ気付いていない自分の長所や可能性を見つけます。検査で気付くことができた自分の長所に驚く姿が見られました。

また、特別講師の加藤喜昭さんに新しい時代を切り拓くアイデアを形にする過程をお話いただきました。

### 第3部 みらいをつくるヒントをつかもう

公益社団法人日本青年会議所北陸信越地区富山ブロック協議会（JCI）メンバーから、グループ毎に経営者としての体験談をお話いただきました。

その後、活動のまとめとして「自分自身の将来」をテーマにグループセッションを行いました。



## ひとつづくり財団からのお知らせ



富山県教育記念館では大会議室1室（収容人数60名程度）、会議室3室（収容人数各20名程度）の計4室を貸出しています。会議や講演会、試験会場等にご利用いただけます。

### ご利用のお問合せ・お申し込み

当館1階受付 TEL：076-433-2770 まで  
※受付時間 祝日を除く8時30分から17時まで  
ご利用料金、空き状況などは、下記から確認できます。  
<https://www.t-hito.or.jp/reserve/>



# こんな事業もしています

## 「高校生とことん科学セミナー」開催事業

県内の高校生に科学への関心をさらに深め、将来の進路や人生を考えてもらうことを目的に、各分野で活躍中の研究者を講師に招き、例年3月頃に「講義」や「実習」を行っています。

**テーマ** 「再生可能エネルギーと水素エネルギー」

**講師** 脇坂 暢 氏

富山県立大学 工学部 環境・社会基盤工学科 教授



## 高等教育振興事業

県内の高等教育機関（大学・短大等）が実施する教育研究活動及び地域連携活動等に対する支援（助成金の交付）を通じて、本県の学術、文化及び産業の発展を図りました。



- 第1号 学会等の開催に対する助成事業
- 第2号 公開講座、シンポジウム等の開催に対する助成事業
- 第3号 研究助成事業
- 第4号 大学連携支援事業
- 第5号 私立大学振興事業

## 令和7年度賛助会員の紹介

(令和7(2025)年12月31日現在)

ご支援いただき、ありがとうございます。

(企業・団体)20企業・団体

(敬称略、五十音順)

- |                |                      |                     |
|----------------|----------------------|---------------------|
| ● 朝日建設株式会社     | ● トナミ運輸株式会社          | ● 株式会社北陸銀行          |
| ● 株式会社インテック    | ● 富山エフエム放送株式会社       | ● 北陸コカ・コーラボトリング株式会社 |
| ● 大高建設株式会社     | ● 富山経済同友会            | ● 北陸電気工事株式会社        |
| ● 紙ぶらす株式会社     | ● 富山信用金庫             | ● 北陸電力株式会社          |
| ● 佐藤工業株式会社北陸支店 | ● 株式会社富山第一銀行         | ● 株式会社MGG           |
| ● ダイチ株式会社      | ● 日本海ガス絆ホールディングス株式会社 | ● YKK株式会社黒部事業所      |
| ● 武内プレス工業株式会社  | ● 阪神化成工業株式会社         |                     |

(個人)18名

富山県ひとづくり財団では、賛助会員として、富山県の未来を拓く創造性豊かな子どもの育成にご協力いただける企業、団体、個人の方を随時募集しております。詳しくは、富山県ひとづくり財団までお尋ねください。

**特典** 機関紙の定期配布（年1回）、イベント等の開催案内、各種報告書等の配布

**年会費** 法人会員 年一口 30,000円

個人会員 年一口 3,000円



# 令和8(2026)年度 富山県ひとつづくり財団 事業予定

## 1 人づくりに関する調査研究及び普及活動

### ① とやまファン倶楽部事業

富山県をこよなく愛し、全国から富山県を応援する方々のヒューマンネットワークづくりを推進します。

### ② 退職教員等活用推進事業

退職教員や民間企業の人材を登録し、学校現場へ紹介することにより、学校における人材確保と優れた指導実践の継承を図ります。

## 2 元気で創造性豊かな子どもの育成事業

### ① 「夢の卵」育成事業

### ② 「きらめき未来塾」事業

思考道場（算数）、お笑い道場、右脳活用道場（漫画）

### ③ 「ロボットづくり教室」開催等事業

子どもたちにもものづくりのおもしろさや楽しさを味わってもらうため、「アイデアロボット展」の開催期間中に「ロボットづくり教室」を開催します。

### ④ 「高校生とことん科学セミナー」開催事業

科学に興味のある高校1、2年生を対象に、最先端の科学に触れ、科学者等とひざを交えて語り合う交流の場を持ち、将来の自分の進路について考えてもらいます。

### ⑤ 子どもたちの生きる力を育む起業家教育推進事業

小学6年生および中学1、2年生を対象に起業家教育ワークショップ「みらいの起業家マインド育成塾」を開催し、県内における子どもの起業家教育の普及を図ります。



## 3 元気な地域づくり事業

### 「学ぼう！ふるさと未来」支援事業

ふるさとに学び、ふるさととともに生きる地域活動を実践している小学校を支援します。

## 4 優れた人材育成支援事業

### 「とやま賞」贈呈事業

## 5 教育の歴史文化に関する文献の収集・保管・展示

### ① 企画展、恒例展の開催

#### 富山県教育記念館1階展示スケジュール

【企画展】	4/16(木)～7/5(日)	郷土の先賢展 「寿司といえば、富山」の13人
【恒例展】	7/8(水)～10/11(日)	第24回 さんすうワールド展
	7/10(金)～8/16(日)	第19回 富山県版造形教育作品展・秀作回顧展
	8/29(土)～9/30(水)	第23回 子どもの目、自然不思議発見写真展
	10/4(日)～10/10(土)	第40回 富山県教職員厚生会退職厚生部富山支部会員作品展
	10/16(金)～11/8(日)	第17回 児童・生徒によるものづくり展
	11/14(土)～11/29(日)	第57回 富山県造形教育作品展
	12/5(土)～1/10(日)	第22回 アイデアロボット展
	1/15(金)～2/7(日)	第37回 富山県中学校美術展



### ② 常設展（2階、3階展示室）

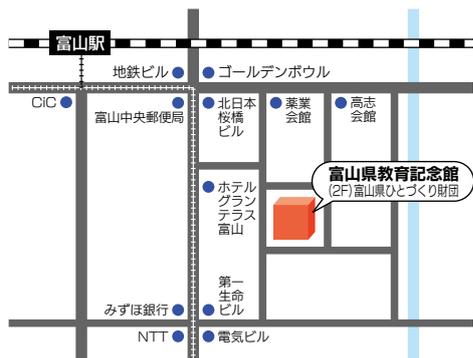
「富山県教育のあゆみ」、「県内学校の情報」や「郷土の優れた先人163名」をご覧いただけます。

## 6 高等教育振興事業

県内の高等教育機関が実施する教育研究活動及び地域連携活動等に対して支援します。

## 7 教育記念館管理運営事業

学校教育関係団体が集う富山県教育記念館の管理運営を行います。



## 公益財団法人 富山県ひとつづくり財団

〒930-0018 富山市千歳町1-5-1 富山県教育記念館2階  
TEL (076) 444-2000 FAX (076) 444-2001

Mail [toyama@t-hito.or.jp](mailto:toyama@t-hito.or.jp)  
HP <https://www.t-hito.or.jp/zaidan/>  
X [https://x.com/t\\_hitozukuri](https://x.com/t_hitozukuri)



HP



X

令和8(2026)年3月発行